



議会だより

No.139

2022.10.17 発行

あ
き
の
は
ら
え

表紙 玖珠土木事務所懇談会

- 補正予算ピックアップ・人事案件…………… P2
- 議案リスト・付託外議案審議…………… P3
- 総務建設産業常任委員会審査報告…………… P4
- 教育民生観光常任委員会審査報告…………… P5
- 決算審査特別委員会審査報告…………… P6～P7
- 第4回臨時会…………… P8
- 特集、活動報告…………… P9～P10
- 一般質問（6名）…………… P11～P16
- わたしのひとこと（2名）…………… P17

裏表紙 飯田、野上地区の写真
編集後記



今号の写真

玖珠土木事務所懇談会の様子

9月
定例会

一般会計 特別会計補正予算

原案
可決

令和4年第3回定例会9月議会が開催され、補正予算5件のほか、報告4件、議案4件、決算認定6件、発議1件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

令和4年度一般会計補正予算（第7号）

補正前予算額 84億8,013万9千円
補正額 △2,016万7千円
補正後予算額 84億5,997万2千円

◎補正予算●主要内容

歳入

- 草地畜産基盤整備事業分担金
..... △6,467万9千円(分担金)
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
..... 4,000万円(国庫補助金)
- しいたけ増産体制整備総合対策事業補助金
..... 440万円(県補助金)

歳出

- 草地畜産基盤整備事業負担金
..... △8,457万6千円
- 畜産経営支援飼料高騰緊急対策支援事業補助金
..... 2,134万5千円
- 運輸・交通燃料高騰緊急対策支援事業補助金
..... 1,200万円

追加議案 令和4年度一般会計補正予算（第8号）

補正前予算額 84億5,997万2千円
補正額 予備費より組み換え
補正後予算額 84億5,997万2千円

◎補正予算●主要内容

歳出

- 全国消防操法大会出場に関する予算
..... 859万6千円
※報酬、旅費、需用費、委託料、使用料、備品購入費等



◎特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計
...繰越金等の確定により6,915万2千円を追加し、総額15億8,820万5千円としました
- 水道特別会計
...繰越金の確定により1,192万9千円を追加し、総額1億3,380万4千円としました
- 介護保険特別会計
...国庫支出金等の確定により6,894万円を追加し、総額15億5,220万5千円としました



教育委員（再任）
今永 裕康さん
(東飯田 北恵良二)

人事案件

1件

同意

令和4年九重町議会 定例会

令和4年9月2日～22日

第3回 定例会議案一覧

議案番号	件名	付託	結果
報告第7号	専決処分の報告同承認を求めることについて		承認
報告第8号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について		
報告第9号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について		
報告第10号	令和3年度このえまち総合サービス株式会社決算の報告について		
議案第54号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総建産常任委員会	可決
議案第55号	九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	総建産常任委員会	可決
議案第56号	令和4年度九重町一般会計補正予算（第7号）		可決
議案第57号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第58号	令和4年度水道特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第59号	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第60号	令和3年度九重町一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定
議案第61号	令和3年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定
議案第62号	令和3年度水道特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定
議案第63号	令和3年度飯田高原診療所特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定
議案第64号	令和3年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定
議案第65号	令和3年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定
請願第2号	県内一周大分合同駅伝競走大会終了に伴い同規模の大会創設を求める意見書の提出に関する請願	教民観常任委員会	採択
陳情第5号	町道認定を求める陳情書	総建産常任委員会	採択

追加議案

議案第66号	工事請負変更契約の締結について		可決
議案第67号	教育委員会委員の任命について		同意
議案第68号	令和4年度九重町一般会計補正予算（第8号）		可決

議員提出議案

発議第3号	県内一周大分合同駅伝競走大会終了に伴い、同規模の大会創設を求める意見書について		可決
-------	---	--	----

(注) 全員一致の場合は、「可決」または「否決」と記しています。可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。
 総建産常任委員会＝総務建設産業委員会、教民観常任委員会＝教育民生観光常任委員会

夜間議会を一時中断します

*** 12月の夜間議会はありません ***

これまで行ってきた12月の一般質問についての夜間議会は、「昼間は仕事で傍聴に行けない」という町民の声を受けて、2000年に始まり22年間開催されてきました。当初は議場に入りきれないほどの方々が傍聴に訪れ大変好評でした。

しかし、年々傍聴者は減少し、その要因として、人口減少、高齢化、共働き世帯の増加それにCATVの普及があると考えています。特に、CATVでは一般質問が放送されており、自宅に居ながら議会の質疑応答を視聴する人が多くなっています。一方で、夜間議会は町職員の時間外労働が伴い、好ましい働き方の面からも考慮すべきと考えていました。

このようなことから、今年の12月の夜間議会を一時中断します。議会としては、町民に開かれた議会の今後の形を、皆さんの意見を聴き、現在進めている議会のデジタル化を活用し、町内の情勢を把握しながら考案していきます。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にすることを目的とした「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、職員が育児休業を取得しやすい環境を整備するために条例が一部改正されます。

- ①非常勤職員に関して、こどもの出生から57日以内の育児休業が取得し易くなります
- ②非常勤職員のこどもが1歳以降の育児休業が取得し易くなります
- ③原則2回まで育児休業を取得することが可能となり、育児休業を2回取得するために提出が必要な「育児休業等計画書」が廃止されます

九重町過疎地域持続的発展計画の一部変更

生竜集会所整備事業

令和2年7月豪雨災害により被災したため、地元からの陳情を受け、現在の集会所を解体して、新たな場所に建替えを行います。令和4年度に実施設計を、令和5年度に工事を行う計画です。

庁舎トイレ内装改修事業

現庁舎建設以来27年が経過し、各種設備の更新時期を迎えている中、トイレ内のタイル剥離等が各所で発生しており、来庁者の安全確保のためにも迅速な対応が必要となっています。大規模改修は令和8年度以降に実施する予定でしたが、令和4年度及び令和5年度の2ヶ年でその修繕を行う計画です。



生竜公民館



ちょっとあぶない庁舎内トイレ



陳情対象道路

皆さんからの陳情は採択されました

町道認定を求める陳情書

湯沢区長 飯田 祥治朗 氏からの陳情です

対象となる道路は町道 東吉部線、田野1712番823先から町道 吉部花牟礼線 田野2605番7先 までの延長1.5kmの区間です。

この道路は日常生活に不可欠で、関係者以外の住民も農業・産業用道路として利用しており、さらに登山客等の観光道路ともなっています。町道としての用地確保にあたっては沿線地権者の同意も得られており、陳情の趣旨は理解できるため「採択」しました。

春季県体「県内一周大分合同駅伝競走大会」終了に伴い、
同規模の大会創設を求める意見書の提出に関する請願

玖珠郡陸上競技協会 会長 高田 修治氏からの春季県体「県内一周大分合同駅伝競走大会」終了に伴い、同規模の大会創設を求める意見書の提出に関する請願については、県内最大のスポーツ行事でありました県内一周大分合同駅伝の終了に伴い提出されたもので、当該駅伝大会の存在が如何に大きいものであったか請願趣旨からも読み取れます。

その存在意義については、地域交流の観点からも地域住民として携わってきた我々にも十分共感ができることです。また、大会の運営については、春の県民スポーツ大会として、県内の様々な団体に支えられてきたものであり、大分県民全体で作り上げ、盛り上げてきたものであると考えます。

これらを踏まえ、本請願については、終了した県内一周大分合同駅伝に代わり同等規模の大会を大分県が主体となり創設する趣旨の意見書の提出を求めるものであり、理解できるため、採択とし、県知事へ意見書を提出します。

「県内一周大分合同駅伝競走大会」終了に伴い、同規模の大会創設を求める意見書

1. 大分県が主体となって各自治体や関係団体との協力をはかり、これまでの大会の運営方法等を受け継いだ同等規模の大会を創設し存続を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

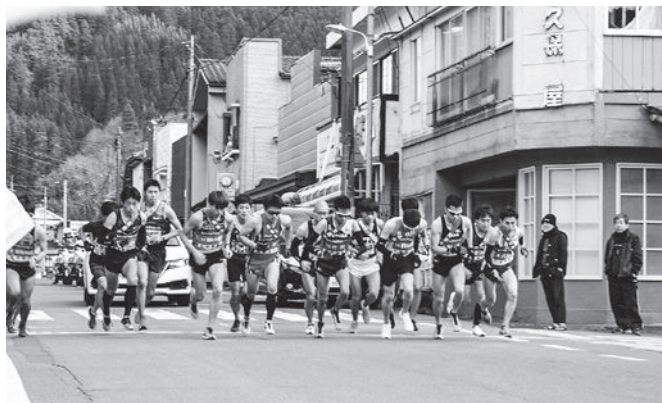
令和4年9月22日

大分県九重町議会

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

※大分県知事に提出した意見書の一部を抜粋

過去の大会の様子



第61回県内一周大分合同駅伝 豊後中村駅前



同大会 九重ふるさと館前

家計簿をチェック

審査特別委員会報告



特別委員会設置

令和4年第3回九重町議会定例会において、議員9名により決算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計の令和3年度決算分について、9月5日、14日、15日の3日間にわたり審査を行いました。

今回の決算審査を実施するに当たり、当該予算が議決された際の趣旨と目的に従ってその執行が適正にそして効率的に行われているか、また今後の行財政運営においていかに改善工夫がされるべきか、コロナ禍で予算執行にどのような影響があるのかといったことに力点を置き書類審査を行い、担当課に対する事情聴取を実施し、慎重に内容の審査を行いました。

委員長が委員会での審査結果を本会議で報告し、報告どおり各種会計決算を認定しました。

決算審査報告

各課ヒアリングの様子

課長・グループリーダーを対象にヒアリングを行いました。



起業支援事業補助金

空き家改修事業補助金

24時間健康・医療電話相談事業委託

認知症地域支援推進員業務委託



令和3年度 町の

決算認定における決算



町の家計簿は、



OK

将来



災害等の対応は、大変。
コロナ禍、豪雨災害の
経験を踏まえ、適正な予算
編成、予算執行を。



決算認定に当たっての付帯意見の概要

●収入未済について

令和2年度分と比較して減少の傾向にあるが、滞納整理については引き続き努力を。

●負担金、補助金、役務費、委託料、備品購入費、扶助費、賃借料について

事業内容において適正な予算執行がされており今後においても事業の精査を行い適正執行に努めること。

●総合意見

◎コロナ禍の中での影響で行事等の中止による不用額が発生したが、今後の予算編成においては災害対策、コロナ対策を念頭に事業の再点検を行い投資効果等を見極め適正予算執行に努めること。

◎住民にとって、わかりやすい行政情報の提供に心がけること。

令和4年九重町議会 臨時会

第4回 臨時会議案一覧

令和4年8月5日

議案番号	件名	付託	結果
第50号	工事請負契約の締結について		可決
第51号	財産取得について		可決
第52号	財産取得について		可決
第53号	令和4年度九重町一般会計補正予算（第5号）		可決

《議案の内容》

議案第50号 九重文化センター空調設備工事契約



契約額 1億4,927万円
対象 体育館・武道場以外の空調設備全て
財源 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金
理由 空調設備の老朽化
応札 10社
契約相手方 株式会社 ツインデック（大分市）

議案第51号 消防ポンプ自動車（CD-1型）取得

※写真の車両と同一型



価格 2,618万円
配備先 東飯田第12分団
仕様 タンク車でなく揚水機能配備
財源 特定防衛施設周辺整備調整交付金
理由 車両老朽化・運転可能人員確保（運転免許改変に対応）

議案第52号 給食運搬車取得

※写真は入れ替え対象の車両



価格 787万6千円
財源 特定防衛施設周辺整備調整交付金
理由 車両の老朽化

議案第53号 一般会計補正予算 4年度 補正前予算額 84億6,633万1千円 補正予算額 1,150万円

（全額国庫支出金…新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

補正の主な目的

- ① 物価高・原油高への対応…運輸・交通燃料高騰緊急対策支援事業 1,200万円
- ② 感染症防疫対策…二酸化炭素濃度測定器106台購入・配備（主に学校） 79万4千円
- ③ 教育活動支援事業…緑陽中学校女子ホッケー一部全国大会出場経費補助 161万6千円
- ④ 日本モンゴル交流50周年記念事業…相互交流に参加する議員・職員の旅費滞在費 222万8千円

※国庫支出金で不足する額は予備費から充当（充当額670万8千円）

玖珠土木事務所との懇談会

7/26

表記の懇談会を7月26日に玖珠土木事務所で開催しました。事前に九重町に関わる事業や災害対策について質問書を提出し、意見交換を行いました。その内の回答をいくつか紹介します。

国道387号の川底工区については令和元年度から工事に着手しており、昨年度には必要な用地買収を完了したため、今年度はトンネル本体工事に着手し年度内の完了を見込んでいる（現在、掘削工事中）。書曲野田線、下恵良九重線、飯田高原中村線歩道、田野・宝泉寺停車場線については他の工事を勘案しながら逐次進める。



工事中のトンネル



改修予定の野上川

野上川の広域河川改修事業は総延長2.4kmに亘り、昨年度より事業実施しており、今年度は測量及び設計を進める。豪雨による浸水被害の早期解消を図る。松木川については河床の土砂掘削を考えている。

県道脇の除草や支障木の伐採は地元との共同も含め実施している。要望は出してもらいたいし、地元の協力は大変ありがたい。

町内の県主管の事業は役場経由でも状況把握できますが、土木事務所と直接意見交換することで詳細の（再）確認ができますし、議会として事業の促進や新規の要望を伝えることができる絶好の機会ですので、今後も精力的に継続する。

7/28
~29

議会広報特別委員会視察研修

今回の視察では、コンクールの受賞歴のある福岡県の須恵町及び岡垣町議会を訪問し、より良い広報企画や紙面作りについて意見交換を行いました。いずれの広報委員会も委員の思い切りの良い発想と行動力によって、優れた紙面づくりがなされていました。



須恵町議会議場にて

須恵町議会では全国広報紙コンクール受賞を目標とした紙面作りに取り組んでいます。表紙写真がステキで、紙面全般に写真が効果的に使われており、見やすくスマートな印象です。見出しと写真で内容が分かるように心がけており、かつ短文です。町内各種団体との座談会も紹介しています。単なるお知らせは避け議会が咀嚼し、その結果を掲載し、詳細はQRコードから見る事が可能です。議会が発信したいことに絞っていて、とにかく見やすく読みやすい。

岡垣町では、町民意見把握も行う広報広聴委員会です。議会運営委員会の広聴機能を広報委員会に移しました。新任議員を中心とした希望者で構成されていて、“やる気”による広聴機能の活性化と感じました。住民懇談会への参加者を増やすため、形式、テーマ、フィードバックなど工夫に懸命です。議会だよりは8-14ページに収めていますが、議会ならではの発信に努めているため簡潔で十分な情報量です。全国広報紙コンクール応募の準備を進めています。



岡垣町議員との意見交換

7/17

日出生台演習場対策特別委員会 —日出生台射撃訓練視察—

コロナ情勢により自粛気味でしたが、今年度は活動を活性化させています。5月には日出生台演習場と演習場に接する町内数か所を視察し、前回の議会だよりに掲載しました。続いて7月には演習場での射撃訓練を由布市議会及び玖珠町議会と共に視察し、防衛講和も聴講しました。

東西に広がる演習場を一望できるその北端の高台、上ヶ原から見学しました。由布市側から玖珠町と九重町境に向け数台の155mm榴弾砲による射撃訓練です。発射音の数秒後に着弾の噴煙とかなり遅れた着弾音。数十発の射撃が進むにつれて、その正確さの驚きから、実際使用されているTVの映像と重なった現実へと思いが巡ります。

発射場への移動途中で草木でカモフラージュした幾つもの小さな拠点と隊員を目にしました。近づかないと見えません。野戦を実感しました。また、榴弾砲の操作説明の後、実際の射撃も体感しました。凄い音と振動でした。防衛講和では、ウクライナ、中国、北朝鮮など現在の情勢を交えて説明を受けました。

一昨年のも米軍演習視察時に比べて世界情勢が大きく変わっており、演習に関して更には防衛や平和に関してより深く考えを巡らすために大変良い機会でした。



榴弾砲近辺



講和聴講

部落解放同盟九重支部との視察研修

6/24
~27

全国水平社が創立されて100年周年を迎えました。町内では隣保館を始めとした各所にその歴史を掲示し、人権研修等では講演やビデオでの学習機会が設けられました。



水平社博物館



この記念すべき年に、部落解放同盟九重支部は奈良県にある水平社博物館の視察を企画し、6月下旬に議員2名が同行しました。博物館は、創立の中心を担った青年たちが生まれ育った御所市柏原にあります。

館内には数多くの資料が映像も含めて展示されており、創立大会のあった京都公会堂での再現もなされていました。ある議員は、当時のことに思いを巡らしながら、「大会には来たものの公会堂に足を踏み入れることを躊躇した参加者の気持ちが分かるような気がした」と感想をもらすほど説得力のある展示内容でした。まだまだ差別解消の途上ですが、議会としても着実に歩を進めることを改めて心に誓った視察でした。

『人間を尊敬する事によって自らを解放せん』

『人の世に熱あれ、人間に光あれ』

このように人権尊重の精神が謳いあげられている水平社宣言を心に刻みたいと思います。

町政を質す 一般質問

6名の議員が質問

今号より答弁者名を答弁者役職名に変更します

一般質問

野上 香代子



ヤングケアラーの実態把握は

..... 昨年度実態把握調査を行い把握している

ヤングケアラーについて

野上 ①実態把握は②児童生徒への知識の指導は③町民の認識度は④気づきの体制や相談体制はどうなっているのか。

井上教育振興課長

- ①昨年、大分県の教育委員会が小学校の5、6年生と中学生を対象に実態把握調査を行い九重町では数名の方がヤングケアラーに相当するのではないかとされる児童生徒がいるということで把握している。
- ②知識の指導としてヤングケアラーとはどういったものかということを見学児童にお知らせして、指導という形を取っている。
- ③まだまだ町民の認識度については低いのではないかと考えられます。
- ④学校が窓口になり状況を把握しながら、福祉や介護、医療、教育関係、幅広く情報を共有して、関係機関も交えて連携しながら対応していく。



豪雨災害復旧状況について

野上 河川、道路、農地の復旧状況は。

武石建設課長 河川、道路の公共土木全体としては、契約率が68%、完成については51%。

農地は、令和2年度災害の契約率については38%、完成率につきましては19%

令和3年度は、契約率が50%、完成については1件

生理の貧困について

野上 ①性教育の実態は②相談はないか③教育現場での実情は④トイレに生理用品の準備はできないか。

井上教育振興課長

- ①保健体育、理科、道徳、特別活動などの時間に系統的に男女共に学ぶことを進めている。
- ②生理の貧困についての相談はない。
- ③子供と対面で話すことで家庭の状況や体調面等を把握している。
- ④中学校については2学期から生理用品をトイレ配置している。



不妊治療について

野上 ①現在の支援状況は②相談体制は③町民への周知は。

竹尾健康福祉課長

- ①不妊治療に関しては今年度から保険適用になった。
- ②大分医科大学の中にある「おおいた不妊・不育相談センター」を紹介している。町では保健師のいる保健センターで相談を受けている。
- ③悩んでいる方に確実に届くことが重要。また、子どもが欲しいと考えている方々の望みがかないやすい社会づくりにつなげる意味でも、広く住民に周知していきたい。

誰にも発症の可能性、認知症対策、 家族への支援を優先すべきだ



佐藤 明郎

…………… 進んでいない現実、今後力を入れる必要がある

佐藤 認知症対策にどのように取り組んでいるか。

竹尾健康福祉課長 支え合いの地域づくり、予防の取り組み、認知症への理解促進、この三本柱で進めている。

佐藤 支える側の育成には力を入れているが、悩み苦しんでいる当事者、家族に目が向いていないのでは意味がない。病に対するマイナスイメージが根強く、周りに言えず家庭内でつらい思いをしている人々に寄り添うことが優先されるべきである。

現に私の周りでも周囲に知って頂いたことで逆に楽になったとの声もある。

竹尾健康福祉課長 指摘の通り、認知症への過度な不安や自ら認知症と認めることへの抵抗感から利用が十分進んでいない。今後は、認知症は誰でもなりうるものであり、恥ずかしい病ではないこと、周りに支援を受ける事で精神的にも楽になった事例などを伝え、粘り強く支援をしていきたい。

佐藤 計画通り事業を展開しても、現場の町民の姿が見えていなければ問題である。委託先との共通認識は徹底できているのか。

竹尾健康福祉課長 定期的に情報交換を行っているが、より充実させる。



くらサポ東による認知症サポーター講習

住民型支え合いタクシーの説明

*あなたが可能な時だけタクシードライバー

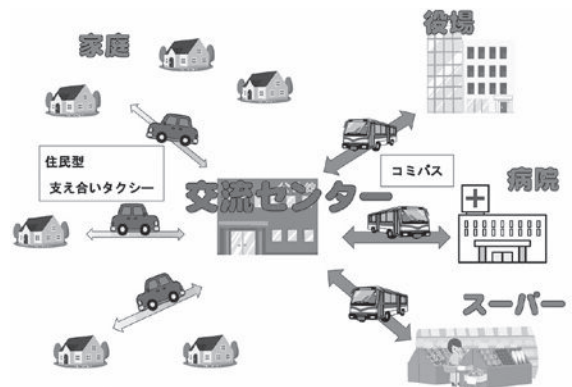
*一日講習を受けることで、自分の車を使い送迎が可能

コミバス、町民の課題解消策を提案

佐藤 町民の移動手段として欠かせないコミバスの課題は①利用したくても自宅からバス路線、バス停までの移動が困難②便数が少なく時間的に利用困難③運営側では効率的運行と乗車率と思われるが執行部の見解はいかがか。

小田地域情報交通グループリーダー 実際に利用者の声を聴く場を設けるなどした中で、町民の声は今指摘のあった内容が大きいと認識している。

佐藤 根本的改革が必要だ。経費を今のまま維持しつつ、町民の困りを解消し、乗車率を向上させ、コミバスの運行回数を増やす、そのうえ、住民同士の繋がりを生む仕組みを提案したい。



佐藤 各家庭から各地区何箇所かのコミバスの拠点まで支え合いタクシーを利用、その分浮いたコミバスを拠点から目的地までのピストン輸送で増便、支え合いでもあり、拠点はふれあいの場にもなる。

時松副町長 関係者、関係事業者も含めて、コミバスの運行方法の協議を始める。提案についてはこの場で返答できないが、あらゆる可能性を排除せず検討したい。

*国の制度で交通空白地帯を対象にしたもの

*勿論、地元の関係事業者との協議は絶対条件

岩尾
茂樹



町道の維持、管理について (町道の草刈りに対して、人数の少ない地域等状況に応じて補助金等の支援は考えられないか)

…………… 新たな支援制度の取り組みを調査検討していきたい

町道の維持、管理について

岩尾 路面の修理等は計画的に実施しているか。

武石建設課長 状況に応じて必要なところから実施している。

岩尾 草刈りはどのような形で実施されているか。

武石建設課長 地元の生活道路等は行政区にお願いし、観光客、町外の方等いろんな方が通行するところは業者に委託している。

岩尾 作業中に住民に事故があった場合はどう対応するのか。

友松総務課長 町民を対象とした自治体の保険で対応できる場合もある。

岩尾 高齢化と人口減少等で行政区での対応が厳しくなっている地域があるが、状況に応じて補助金等の支援ができないか。

武石建設課長 地域によって実情に格差があることは認識しているので、先進事例を参考に新たな支援制度の取組みを調査検討していきたい。

自主財源の確保について

岩尾 町税の徴収率が県下18市町村の中で最低と報道されていたが間違いはないか。

武石税務課長 間違いはない。

岩尾 九重町の徴収率93.5%が県下平均の98.2%になった場合と100%徴収できた場合は徴収額が各々いくら増えるか。

武石税務課長 約6,000万円と8,700万円増える。

岩尾 県や玖珠町等と連携して滞納整理に取り組んでいるのに徴収率が上がらないのは何故か。

武石税務課長 固定資産税の滞納繰越分が改善できていない。

岩尾 改善する手段は何か考えられないか。

武石税務課長 適正に時効管理等を今後行っていく。

岩尾 ふるさと納税の状況は。

熊谷企画調整課長 令和3年度は1億円の予算に対して1億1,100万円、初めて1億円を超えた状況である。

岩尾 実績自体は右肩上がりが増えていていると認識しているが、返礼品の上位品目何か。

熊谷企画調整課長 梨がトップで肉類が続いている。玄米ごはん、宿泊券も伸びている。

岩尾 九重町から他市町村にふるさと納税をされている状況は。

武石税務課長 令和4年度分は107人で寄付金額は約802万円、控除額は約341万円となっている。

岩尾 ここ数年人数、金額とも増加しているが、この状況をどのように考えるか。

熊谷企画調整課長 制度上やむを得ないと考えている。

岩尾 ふるさと納税においては、入ってくる寄附と出ていく寄附があるが、今後何か計画があるか。

熊谷企画調整課長 出ていく寄附を止めることはできないが、ポータルサイトや返礼品を充実させ、入ってくる寄附額を増やしたいと考えている。

岩尾 自主財源を増やし観光振興に利用するため、宿泊税等の新税の導入は考えられないか。

日野町長 現在の厳しい状況下において議論することには疑問がある。ただ、自主財源を増やすことは大変重要なことなので研究していきたいと考えている。



返礼品として大人気、九重の梨

マイナンバーカード交付率を上げるために肝要な点は何か

…………… 未取得者数の多い高齢者や10歳未満の取得増に一層注力



麻生 良典

マイナンバーカード交付の現状と課題は何か

麻生 マイナンバーカード交付率は毎年どの様に推移しているか。年代ごとの交付率は如何か。

佐藤住民課長 下の表の通りである。

2020年及び今年度の取得推進策により交付率が伸びており、特に今年度は5ヶ月間にも拘らず701件と多い。

高齢者で交付率が高い傾向にあるが、取得していない方の数も多い。70代では802人で30代の400人に比べて倍の多さである。10代未満は27%と最も低く、未取得者も377人と多い。

麻生 今年度は出張窓口を始めとして取得支援に努めているが、取得率向上に向けた新たな方策はあるか。(右に続く)

熊谷企画調整課長 現在、行政区に出向いて支援している。高齢の方が多く、今以上の人数が集まれるように努力する。これまでに10行政区から要望を受けており、粘り強く広げていきたい。10歳未満の取得率を上げるためには、ファミリー層をターゲットにした取り組みが必要で、学校などの協力も得ながら進めたい。当面の目標は全国平均の取得率です。

麻生 マイナンバーカードの活用により行政事務や住民の手間が省けることが本来の目的だが、効果は出ているか。

熊谷企画調整課長 目に見える効果は出ていない。現状は税の確定申告や児童手当の現況届が主である。進行中である業務のオンライン手続きの整備拡大により効果が表れると思う。カードに搭載される健康保険証の利用促進や町独自の利用策の考案により普及を進めたい。

交付率の年推移 (年度)

％は四捨五入

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	全国平均
％	3	9	10	11	13	22	39	44	47

年代別の交付率

※2022年は8月末現在

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
％	27	35	46	39	39	43	47	50	50	30
人	377	420	282	400	580	558	745	802	589	277

まち・ひと・しごと総合計画の中間点総括

麻生 5年間の総合戦略のちょうど中間時点である。進捗は如何か。審議会の議事の内容を概略でも構わないので公開や広報はできないか。

熊谷企画調整課長 町の人口は予測以上に減少している。社会増減の均衡化を図っているが、社会減が多く社会増の主を占める移住者数が伸びてこない。交流人口はコロナ禍の影響もあるものの入込客が非常に減少している。(右に続く)

合計特殊出生率は2.30で2030年の目標を大きく上回っている。しかし、統計の対象となる方々の減少に伴い、出生数も減っている。子育てには良い環境であることがうかがえるが、社会減への対応を図る中で何らかの改善策を考えたい。

審議会での議事内容の公開/非公開については決まりは設けていない。必要に応じて皆さんにお知らせしたい。

増田 裕子



出生数が急減している今、 きめ細やかな子育て支援が必要では …………… 体制を整備しつつしっかり進めていく

子育て環境を見直すべき時期 子育て家庭の孤立を防ぎ、きめ細かな支援や相談体制の整備を!

増田 妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない支援を提供し、育児の不安や虐待予防に寄与できるようにする「子育て世代包括支援センター」設立の具体的な内容と進捗状況は。

日野子育て支援課長 実情を把握し、各種の相談に応じ、必要な情報提供、助言、保健指導を行い、支援プランを策定してさらに支援強化を図るもの。R5年度に設置予定。場所は保健センターか庁舎内で検討中。

増田 病児、病後児等保育の取り組みは。

日野子育て支援課長 みつばこども園で体調不良児対応型（看護師が対応して保護者の迎えまで預かる）を実施している。また県の事業で、R3年10月から県内の病児・病後児保育「あずかるこちゃん」（提携施設にスマホ等で予約し利用できる）もある。利用実績は1件。



↑ 大分県の病児保育事業

増田 ヤングケアラーを含む児童虐待の把握や、子育て家庭の孤立を防ぐ町の取り組みは。

日野子育て支援課長 R3年度、虐待事象だけで15件把握している。年1回の要保護児童対策地域協議会の下に、月1回実務者会議を持ちながら随時対応している。

児童相談所や警察、保健所と教育委員会を含めた地域の関係機関とで連携しながら進めている。

学校に、もっと支援の人員を増やせないか

増田 学校で支援が必要な児童生徒にはどう対応しているか。



小学校での授業風景

濱田教育長

支援が必要な児童生徒については、就学支援委員会が学校や保護者の意向を受けながら前年度末に判定する。小中学校あわせて15名の支援員を町独自で配置している。

日本語指導が必要な児童生徒に対しては、県が日本語指導員や教諭を配置する。現在町内2名の児童生徒に指導員はいない。ケースによって指導員では対応できない実情もある。日常的な生活の中で必要な言葉をまずカード等を使って覚えてもらい、段階を踏んで日本語の基礎的な知識や技能の育成、学習活動に参加する、という流れをとっている。タブレット等も活用しながら、現場の先生方になるべく負担がかからないよう考えてく。

増田 各学校行事（PTA等）をできるだけ重ならないよう調整できないか。

井上教育振興課長

現在も調整しているが、更に善処する。

出生数

H30	51人
H31 (R1)	46人
R2	39人
R3	44人
R4 (見込)	31人

20年以上、年間出生数70人前後を維持してきたが、この5年間は4～50人以下に減少

農業経営安定化対策の取り組みは



有吉 富生

…………… 九重町農業再生協議会で計画を立て積極的に推進していく

町内の米の需要安定の取り組みは

有吉 米の需給の見通しとして生産目安が示されているが4年度の目安はいくらか。

吉光農林課長 九重町の目安は617haであり令和3年実績は606haで安定が図られている。

水田活用の支援の取り組みは

有吉 町内で多くの特産品が生産されているが経営所得安定対策として支援されているか。

吉光農林課長 国の戦略作物、県・町の地域設定作物として対策支援をしている。

有吉 水田活用の中で今後5年間一度も水稲作付けが行われない農地は9年度以降交付対象としない方針だが協議も不十分であり国への対策を要望すべきではないか。

吉光農林課長 国より文書通達があったが5年後の実施であり確定ではない、今後の動向を注視していく。



水田活用のハウスと牧草

農業改革での活性化は

有吉 農業後継者が夢をもって農業経営ができる時代に合った改革が必要ではないか。

吉光農林課長 人農地プランを法定化して、目標地図を作成して町の方向性を見極めていく。

物価高騰支援の対策は

有吉 経営支援、医療福祉等々の支援が国の政策で進められているが町の基本的な対策支援は。

熊谷企画調整課長 国の交付金で対応するもので、対象者を調査し幅広く支援を行う。

防災無線・ケーブルテレビについて

有吉 防災無線とケーブルテレビの今後の活用をどのように図っていくのか。

小田地域情報交通グループリーダー

防災無線・ケーブルテレビ連携をもって、町の行事やお知らせ等また災害時の緊急放送や関係機関の情報伝達等住民の命を守る呼びかけを図っていく。



新しくなった防災無線

生活環境の維持管理について

空き家や不在地主の荒れた土地についての維持管理

有吉 町民から連絡が取れない土地が荒れ放題になっていて、何らかの支障がある土地については町から指導はできないか。

友松総務課長 関連法等の改正や制定で法的には整備されたが、これらの法制度を実際に活用するためには、支障がある土地の判断基準を定めるなど細かい条件整備が必要。

あたしのひとこと

温泉地とともに 生きつづけて

南山田 宝泉寺
松平 ひなたさん



宝泉寺温泉の旅館旅籠彩くらの若女将、松平ひなた15歳です。

今年の4月より若女将を任されることになりました。

若女将になったきっかけは令和2年の7月豪雨で被災をしたことで自分の中で何かが変わったのがきっかけです。

自宅と御宿みやこ、旅籠彩くらと2つの旅館がありました。すべて泥と流れてきた木でぐちゃぐちゃでした。

毎日汚れたものを捨て洗って、も洗っても泥が落ちず夢にまで出てくるようになりました。学

校にも行けなくなりました。きれいになるまで半年かかり、復活したと思ったらそのころコロナ禍がやってきてすべての観光がだめになりました。

みやこの方は父に聞いたところ再建に莫大な費用が掛かるから断念するという答えでした。

私は3年生になって進路のことで学校のカウンセリングの先生と話すうちに爽風館高校というところがあると教えてもらいました。少しでも両親を手伝いたかったので学校に行きながら働くということを決め頑張っています。コロナと水害で宝泉寺温泉はまだ復活も出来ていません。宝泉寺温泉が少しでも活気が戻るようにこれからも頑張ります。



移ろう時の流れとともに

東飯田 北恵良一
日野 武さん



私は東飯田地区で本と文房具の販売を業としていきます。父の跡を継いで40年が過ぎました。

継いだ当時、九重町は財政再建の真つ只中。職員・議会・町民総力を上げて頑張り、今では県内でトップクラスの健全財政の自治体になったと思います。

しかし、その間には生活様式等の様々な変化が起こり、商工業者も減少の一途となりました。

現在はコロナウイルス蔓延による生活の変化に世界中の人々が苦しんでいます。

また、「AI」や「SDGs」等、何やら難しい単語が身の回

りを覆い、年を重ねた自分には「つらいなあ」と感じる日々です。

「一日として、同じ日は無い。」これからも変化の日々が続くことでしょう。

今まで通りのことを続ける事の難しさを痛感する毎日です。地域の年中行事や、あらゆることに少ない若者が中心になって対応しているのが現実です。年を取り、微力で新しい事が苦手な私ですが、出来る限り、皆と力を合わせて、地域に関っていきたいと思います。



いらっしゃ〜い



第15回

地区リレー

飯田

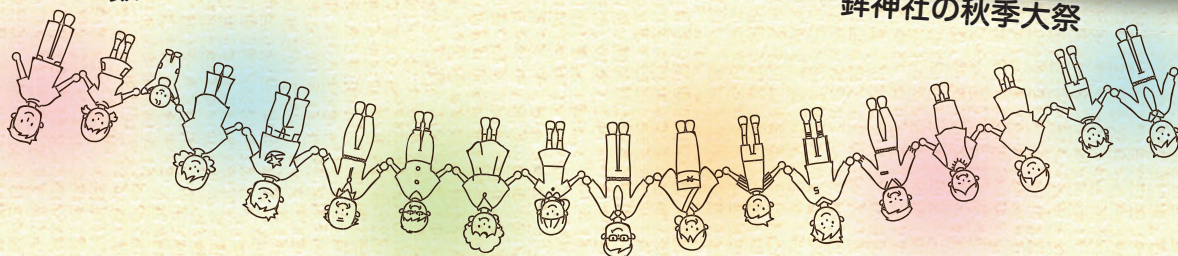


飯田こども園たんぽぽ組おたのしみ保育

野上



鉾神社の秋季大祭



議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76-3814】

令和4年10月17日
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

猛暑の夏も過ぎ去り肌寒い季節となりました。

台風等の災害・新型コロナウイルス感染症も先行き不透明で心配は絶えませんが、一日も早い収束を願うものであります。

円安ドル高、物流の値上げのラッシュと、これからの日本はどうなっていくのか。

人口減、超高齢化社会と不安材料は多々ありますが、今こそ改めてお互いに助け合う気持ちの育成が必要では！

これからも安心して快適な生活が送れるよう町民の目線に立った議員活動を行います。

土井眞一郎

.....
広報委員長 野上香代子

.....
副委員長 土井眞一郎

.....
委員 佐藤 博美

.....
委員 大津留敏加

.....
委員 麻生 良典

.....
委員 岐部 俊哉